

# 新たな議会構成 (平成28年11月30日現在)

◎は委員長、○は副委員長です。

## 建設経済常任委員会 7人



◎は委員長、○は副委員長です。

(前列右から) 山田 雅彦、小川 尚一、門馬 和夫

(後列右から) 水井 清光、田中 一正、渡部 一夫、志賀 稔宗

## 広報特別委員会 6人

### 東日本大震災・原子力災害復旧復興調査特別委員会



(前列右から) 山田 雅彦、鈴木 貞正、門馬 和夫

(後列右から) 岡崎 義典、但野 謙介、中川 庄一

新たな議会構成

委員長 中川 庄一

副委員長 奥村 健郎

委員 正副議長を除く  
議員全員

# 建設経済常任委員会

委員長 渡部 一夫

## 財産の取得について

**質疑** 被災地域農業復興支援事業農業用機械購入だが、事業実施に向けて、実際に利用する頃には半年も経っているという状況があると思うが、どのように捉えているか伺う。

**答弁** 手続き上必要なことであり、しっかりとやっていく事には変わりないが、営農に支障をきたしてはならないと考えている。早め早めに相談を受け、手続きに入る部分の時間をできるだけ短くし、営農に支障が無いように対応する。

平成28年度南相馬市工業用水道事業会計補正予算について

**質疑** 牛来浄水場の除染作業に伴う業務の委託料の減額だが、内容について伺う。

**答弁** 当初計上では全体

除染を想定していたが、実際除染をした面積が下回ったことでの減額補正となった。主な面積だが、舗装の部分では、当初1千395平米に対し、258平米。側溝部分で、約2千mに対し、660mである。

**質疑** 放射線量について伺う。

**答弁** 除染前は、0.22 $\mu$ Sv/hが平均であったが、除染後は、0.17 $\mu$ Sv/hに減少した。調査結果の線量は下がったということだが、今後に向けて、自前で測定をし、安全性の確保と確認等に努めていく。

平成28年度南相馬市一般会計補正予算について

**質疑** 多面的機能支払推進事業の交付金の時期の遅れと早期支払について伺う。

**答弁** 今回の補正は、事務費に係る補正減だが、支

払いが若干遅れたのは、国の交付決定が8月になり、その前に事務を行うことが出来なかったこと、及び鹿島区・原町区で40組織あり、全組織がまとまった段階で請求を出したことにより今回遅れが生じた。今後は、市の補助負担分25%の部分を先行して支払いが可能と思う。事務的にも簡素化できるような形で対応する。

**質疑** 鳥獣被害防止緊急対策事業の大規模侵入防止柵設置の変更について伺う。

**答弁** 大規模侵入防止柵5千mから2千mへの変更だ。貸与する場合、刈払いの協力、地区の合意が必要であり、今年度、各地区の調整が整わなかったことにより、3千mの事業は来年度進めるということで減額とした。

**質疑** 捕獲した後の考え方について伺う。

**答弁** 環境省、農林水産省等々とも協議を進めているが、まだその方向性を明確に言える段階ではない。引き続き、処理や処分について理解頂けるよう対応し

ていく。

**質疑** 大規模柵や電気柵の設置により駆除や捕獲の作業に、不都合が生じるのかどうか伺う。

**答弁** 山への出入り時に支障が出ないこと、不慮の事故にならないようなことが必要である。捕獲隊を編成するにあたって委嘱状を交付しており、一堂に会する機会があり、情報の提供、共有するためどこに柵を設置しているのか呼びかける取り組みを進めていく。

**質疑** 過年発生公共災害復旧事業（都市公園施設）であるが、県の防潮堤・防災林の事業の遅れについて伺う。

**答弁** 県の説明では、「防潮堤の工事は、今年の3月で終わる予定であったが、今年度中には終わらない。防災林工事は、今年の8月ごろ発注し、来年の10月以降までに終わらせない」とのことである。

**質疑** 活力ある商店街支援事業補助金であるが、老朽化を含めた対応ということだが、こういう施設等は

必要であり、今後も商業活性化の支援に取り組みの方向性か伺う。

**答弁** 震災後、コンパクトシティーではないが、災害公営住宅等、街なかの居住者を増やしていることもあり、商店街整備、或いは支援について今後とも力を入れて取り組んでいく。

**質疑** 特別都市下水道維持管理事業の、維持費、利用の負担金について伺う。

**答弁** 今現在使用料を徴収していないし、当時から徴収していない。毎年若干の補修程度の経費はかかっているが、現在のところ使用料は徴収していない。

審査の結果、原案通り可決。



除染が進む牛来浄水場